

理由4

夏のかんかん照りでも
室内は涼しい空間になります。

夏の猛暑は屋根の対策です！ふん解決できるのです

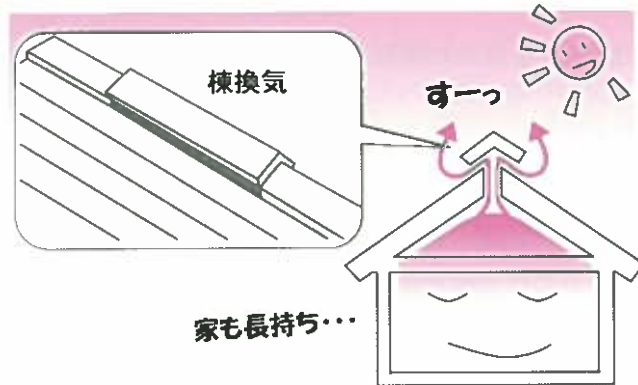
1 夏場は屋根裏の熱気対策で快適に

住宅の高断熱・高気密化が進んでいますが、夏場に小屋裏と呼ばれる屋根の下の空間に熱や湿気が溜まると、その熱気が室内にも伝わりムシムシ暑くなります。最近では、通気を良くして、この屋根裏に溜まる熱気を逃がす対策を取ることで、夏場を涼しく快適に過ごすことができるような商品が登場しています。



2 快適さと家を長持ちさせるダブル効果が

屋根裏の熱気を逃がすことで家の中の気温はずいぶん下げることができます。棟（むね）と呼ばれる屋根の一番上の部分に通気口を設け、空気の温度差や気圧差などで自然に小屋裏の湿気や熱気を逃がすようにするのです。これは棟換気と呼ばれ、夏場を快適に過ごすだけでなく、住宅の寿命を延ばす効果もあるものです。



3 太陽熱を反射させる塗料も登場

夏は屋根にかんかんと太陽が照りつけ屋根の表面温度が70℃を超えてしまうことがあります。屋根から来る熱による室内のムシムシ暑さを抑える方法は、小屋裏換気のほか、屋根に太陽熱を反射させる遮熱塗料を使う方法があります。遮熱塗料は太陽熱の約90%を遮断することができ、小屋裏換気と併用すれば夏場を一層快適に過ごせます。



知っておきたい豆知識



航空技術を応用した遮熱塗料

太陽の光を浴びて屋根が熱くなるのは、太陽エネルギーの50%を占める赤外線的作用です。遮熱塗料は別名「太陽熱高反射塗料」と呼ばれ、飛行機などの航空技術が生んだ屋根用塗料として注目されています。見た目も工事方法も普通の塗料と同じですが、中に入っているセラミック粒子が赤外線を反射することで、屋根の表面温度を下げることで、できるのです。最近普及してきた太陽光ソーラー発電は、屋根の温度が低い方が発電効率が高くなるため、夏場の室内の環境対策とともに注目されている塗料です。